



議会だより



R6
No. 173

3.1 発行

- 一般質問と答弁 2p
- 議決一覧(定例会) 11p
- 所管事務調査(総務文教) 12p
- 所管事務調査(経済建設) 14p
- 議会傍聴・現場踏査・編集後記 ... 16p

ひまわりサークルは結成8年を迎えた。花の好きな平敷区在住の7名で、国道505号線沿いの案山子がたつ花畑で、ボランティア活動をしている。村外の方々にも知られた場所である。サークル代表の上間玲子さんは、「楽しみながら、家庭と仕事、自分の用事を優先し、無理をせず続けていけたらいいと思う。」と話す。作業後のゆんたく会が仲間の絆を深めているとの事。

ひまわりサークルは地域の一人暮らしの方々の見守り活動も行っている。体調の異変に気づき、社協や行政に繋がったり、普段から目配り気配りを怠らない。地域になくってはならない存在となっている。「体力が続く限り花を植えて育て、花に癒され、花から元気をもらってボランティア活動を続けていきたい。」と皆さん笑顔で話してくれた。

一般質問

月定例会

会期日程（12月13日～22日）

8名が一般質問しました 12月14日(木)・18日(月)・19日(火) (通告順)

3P	座間味邦昭	<ul style="list-style-type: none"> ① インボイス制度について ② 国勢調査について
4P	根路銘弘美	<ul style="list-style-type: none"> ① 役場駐車場について ② 今帰仁保育所、認定こども園みらいについて
5P	座間味 靖	<ul style="list-style-type: none"> ① 樹木の移植と伐採について ② 幼児教育について ③ 外猫の対応について
6P	與那 勝治	<ul style="list-style-type: none"> ① 企業版ふるさと納税について ② ウォーキングについて
7P	山城 太	<ul style="list-style-type: none"> ① 旧保育所、各学校校舎、関係施設の今後について ② 交通安全対策について ③ 村管理の水道について ④ 県高校駅伝大会について ⑤ 北山高校魅力化寒業について
8P	島袋 輝也	<ul style="list-style-type: none"> ① 持続可能な農業、畜産業の振興について ② 福祉行政について ③ 村の自然景観の保全について ④ 今帰仁村第五次総合計画について
9P	東恩納寛政	<ul style="list-style-type: none"> ① テーマパーク「JUNGLIA (ジャングリア)」の初の公式発表について
10P	上原 祐希	<ul style="list-style-type: none"> ① 自主財源の確保について ② 文化的景観地域について

●の数字は掲載された質問です。それ以外の質問は紙面の都合上割愛されています。本会議録については各字公民館に配布の予定です。詳しく調べたい方は、公民館もしくは議会事務局までお立ち寄りください。



座間味 邦昭 議員

問1 インボイス制度

問 令和5年10月からインボイス制度がスタートしたが、制度の理解が得られず登録に慎重な個人事業主が多いと見受けられる。商工会等と連携して継続的に周知し、必要に応じ、専門家による講演会等を定期的に開催すべきではないか。

に相談できる対応を取って頂きたい。

答 村長

気軽に相談出来る環境、状況を作っていくのも課題であり、商工会を中心に相談しながら取り組んで行く。

問2 国勢調査

答 久田浩也村長
村としては、引き続き商工会をはじめ、関係機関と連携しながら周知を図っていく。

5年に一度行われる国勢調査が令和2年10月に行われ、

村の定住人口が8894名と5年前の調査より637名減り、9,000名を割るという衝撃的な結果が公表された。特に15歳未満及び15歳から64歳までの年少人口や生産年齢人口減少が著しく、村の財政及び村経済

にも大きな影響を及ぼすが、村として国勢調査の結果をどのように捉えているのか。

定住人口の減少は村にどのような影響を及ぼすのか、その対策を検討しているのか伺う。

答 村長

国勢調査で公表された定住人口減少は、自然減の状況が報告されており、国勢調査の数値に基づき、村の財政面を含め影響があるものと認識をしている。村としては長期的な視点に立ち、社会全般的に政策・施策を検討していく必要があると認識している。

改めて村としてどう捉えているか伺う。

答 企画財政課長

自然減の回答は、的確ではなかった。北部地区においては、全体的に減少傾向であり、特に進学、就職による移動も要因の一つと捉えていることもあり、自然減という形の表現になった。

答 村長

長期的な視点に立って、今後、社会全般に関しての政策、施策をしっかりと打っていかねばならないと認識している。

問 15歳未満の人口減と生産年齢の人口減が著しいと聞いているのに、その答えが自然減で結論付けるのはおかしい。自然増減とは、出生数と亡くなった方を引いた数値であり、国勢調査の結果を見れば社会動態の移動等の様々な要因があることが分かる。いろいろな角度から議論をしたいため、

問 令和2年度の調査では、特に15歳から64歳の生産年齢の減は869人になっている。卒業に伴い転出したでは済まされない数字になる。定住人口の減少は、村

の大切な財源の地方交付税の算定や、住民税等にも影響を及ぼし、子育て支援や産業施策等の住民サービスの低下を招く事から、基本的には人口をどのように維持するかが重要である。国勢調査のデータを把握し、施策を打つ必要性があると思うが見解を伺う。





根路銘 弘美 議員

問1 役場駐車場

現在整備中の役場駐車場の植栽についてどのような計画を持っているか伺う。

答 村長

駐車場整備が完了後、植栽を進めていく予定である。

問 沖縄の気候風土にあった植物が予定されているのか。

答 総務課長

計画の中では、村の花であるハイビスカスを中心として、沖縄の気候風土にも適しているコバテイシや桜、クロトン、黒木等を計画している。

問 旧役場庁舎のガジュマルが現在枯れた状態である。フクギも撤去せざるを得なかった。今後植える際には撤去しないような植樹の在り方。コバテイシは、コンクリートやアスファルトも起すぐらいの根っここの強さがあるので計画的にやったほうがいいと思うが見解を伺う。

答 総務課長

コバテイシについては、今後は樹木の選定を行う中でしっかりと掘り下げたい。

問 オオゴマダラの食草であるホウライカガミや、カバマダラの食草であるトウワタ等そういう種類の花を

植えて蝶々が舞うような環境にするなど、物語があり、今帰仁村を訪れる人たちがこの駐車場にたどり着いたときに印象に残るような構想や設計図があるかというと思いが見解を伺う。

答 総務課長

来庁される皆様、駐車場に着いたときに気持ちよくなるということ、こちらにも植物を選定する中で一つの理由の柱になると捉えている。オオゴマダラが飛び交う駐車場というのも非常に夢があるので検討させていただきたい。

問2 今帰仁保育所、認定こども園みらい

近い将来統合があるのか伺う。

答 村長

入所年齢の年齢別人口における入所率や出生数、教育・保育ニーズ等を勘案しながら対応していく。

問 丁寧子どもを育てる

ために、国の基準ではなく、村独自の基準を設けることも必要だと考える。今後手厚い子育て保育環境をつくるため、認定こども園みらいを統合するにあたって、職員が増えればい

ただけではなく、あらゆる予算を投じて丁寧な環境を整えていくという課題に取り組んでいただけるかどうか伺う。

答 村長

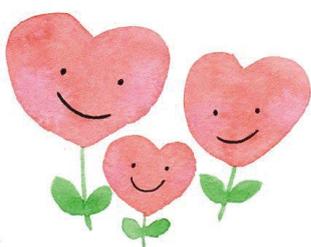
本村において保育士の公募に対して応募がない。また、離職も年々増えているという状況は大変憂慮している。子育てしやすい環境、丁寧な子育てを心掛けようということ、地域のニーズと動向などによって、計画を変更する必要がある場合は、適宜に見直していくような体制を整え、今後保育行政の更なる充実を目指して施策を進めていく。

問 どの園も人手不足と言っている。保育所の先生方も頑張っている。ぜひ行政で

応援して検討していただきたい。

答 副村長

人手不足の影響で、保育士自身の子どもが急な病気と発熱の状態になっても、に休めない聞いています。子供が、安心安全な保育環境を確保するとともに、保育士も心と時間に余裕をもって園児に接することができると、保育環境をしっかりとつくることが大変重要だと思う。子どもはこの今帰仁村の次の世代を担う人材である。みんな温かく見守っていきながら、行政でできることはしっかりと施策を講じていきたいと考える。



問1 樹木の移植と伐採

施策大綱の中に「豊かな自然を次世代に引き継ぐことのできるむら」とあるが、

中央公民館のヤシの木を伐採した件について、理由と何処(委員会等)が決めたのか伺う。

答 玉城奎教育長

ヤシの成長に伴い、巨大化し重量のある花及び枝葉が、強風等の影響で頻繁に落下することが確認され、利用者に重大な危険を及ぼす懸念や、維持管理が困難になったことから、社会教育委員会及び公民館運営審議委員会の意見も踏まえ、伐採を行っている。

問 役場敷地にあったガジュマルを移植した件について、理由と何処(委員会等)が決めたのか、また村外業者に依頼したのは何故か伺う。

答 村長

景観委員会の意見も含めて、庁舎建設委員会で検討していく中で、庁舎に関する住民や職員の意見も踏まえ、庁議において総合的に勘案し移植することに決定した。村外業者に依頼した件については、ガジュマルの樹形も大きく、村内業者が移植作業に難色を示したこともあり、庁舎建設委員会にアドバイスをするなど、ガジュマルの詳細な現状を把握している業者が行うことが適正と判断し依頼した。

問 今帰仁小学校の台湾風の移植について、村外業者の判断はどうだったか伺う。新たに松の木等が解体工事の邪魔になるとあったが、保護者や地域の方々への説明が必要だと考えるが、見解を伺う。

答 教育長

今帰仁緑化木生産組合の方と今帰仁小学校にて確認を行ったが、移植は困難との回答を得た。新たな松の木等の伐採については、今帰仁小学校PTA総会で校舎建設にあたり、校内の樹木の伐採も含め、保護者等への説明を行い、理解していただいていると認識している。

問 移植したガジュマルが、枯れているように見えるが、見解を伺う。

答 総務課長

村民の皆さんからも「枯れているのかね」というような連絡もあり、職員が実際に現場に足を運び、専門の方にも意見を伺うと、まだ枯れているというふうに

断言はできないと説明を受けており、もう少し見守っていきたいと考えている。

問2 幼児教育

長野県筑北村へ幼児教育の所管事務調査に行ってきた。筑北村では「幼児教育・保育推進プラン」を策定しているが、本村の状況を伺う。

答 村長

「幼児教育・保育推進プラン」の策定については、本村では策定はしていない。

問 筑北村では住民福祉課・保育園・小学校との連携・連絡会が行われているが、本村の状況を伺う。

答 村長

共有すべき通達や研修などの連携・連絡に努めている。

問 筑北村では子ども支援専門員(元中学校長)、幼児教育コーディネーター(元幼稚園長)、特別支援教育指導

員(元特別支援学校長)を採用しているが、本村の状況を伺う。

答 村長

子ども支援専門員、幼児教育コーディネーター、特別支援教育指導員の採用はない。

問3 外猫の対応

県から「ずっとやんばるずっとうちネコ アクシオンプラン」の通知が来ていると思うが、村としての対応・見解を伺う。

答 村長

世界自然遺産登録地を有する国頭村・東村・大宜味村が対象地域となる中で、沖縄全域における猫の適正飼育と遺棄防止の周知、普及啓発についても当該プランの活動内容として明記されており、今後はその活動内容に沿って関係団体との連携のもと取り組んでいく。



座間味 靖 議員



與那 勝治 議員

問1 企業版ふるさと納税

今現在どのような進捗状況か。

答 村長

令和5年11月17日第69回地域再生計画の認定における新規認定が完了している。

問 早いもので全額控除の特例措置期間というのが残り1年余りとなっている。村としてこの企業版ふるさと納税をどのように活用していく予定か。

答 企画財政課長

地域再生計画の4つの大項目で、その項目の下に更に細分化された細かい事業の展開を今後予定している。

問 企業版ふるさと納税は、人材派遣型という企業から、プロフェッショナルな方々をピックアップして人材を派遣して頂くこともできる。我々も含めてノウハウを学びながら村の人材をつくっていくこともできる。人材派遣型を活用した人材育成に対して当局の見解は。

答 副村長

この人材派遣型を活用し、ノウハウや人材育成をしている企業とうまくタイアップする中で、その育成を担ってもらおうということは十分にあり得る。ぜひそこは取り組んでいきたい。

問 企業版ふるさと納税を含めてあらゆる補助金、交付

金をフルに活用し、本村の豊かな自然、歴史、文化を生かして稼ぐ力を身につける。沖縄を満喫したいなら今帰仁に行けと言われるような村づくりを皆で頑張っていけたらと思う。

答 村長

人づくりにしつかり力を傾注していきたい。企業側とは十分に調整、協議を行い、でき得れば議員各位においても共に行動して頂きたいと意を新たにしている。庁内においては全庁を挙げてしっかりと密に連携をし、進めていく。

問2 ウォーキング

健康維持に欠かせない運動で誰もが気軽に始められるウォーキング。村民に対してウォーキングを継続的に行えるような取組を行っているか。

答 村長

健康寿命の延伸等を目的に「歩く習慣」を推進して

おり、毎月第1日曜日の「村民健康づくりの日」には毎回発着点を変えて「健康ウォーキングの集い」を開催している。

問 私なりに考えているが、競争意識があれば続けるのではないかと。ウォーキングアプリを導入して、村民の競争意識を高めたらどうか。

答 健康づくり推進課長

おっしゃるよう意識を高めて自発的にできるようになるのが目標になる。提案のあったICTを活用したスマートフォンや情報機器を活用した取組についても有効ではないかと考えている。

問 アプリで登録し、例えば住所が登録できるのであれば、個人戦はもとより団体戦、字対抗戦もできる。そうなると思いませんか。楽しくながら歩くことで医療費削減にもつながると考える。ウォーキングラリー

を通じてウォーキングを継続させるという取組も必要ではないか。

答 健康づくり推進課長

ランキング形式や個人戦など、一定の期間、集団や同好会、企業対抗など実際のこの動機づけとして行っていると承知しており、新しい取組みも検討する余地はある。



問1
旧保育所、各学校校舎、関係施設の今後

旧兼次小体育館、旧兼次幼稚園、湧川小中学校、仲尾次保育所等の跡地利用の進捗状況を伺う。

答 村長

旧兼次中学校屋内運動場、旧兼次幼稚園、旧湧川小中学校、仲尾次保育所等については、引き続き今帰仁村公共施設等総合管理計画に基づき対応を行っていく。

問 旧兼次小学校の体育館について劣化が激しく危険だと思いが。

答 企画財政課長

大分傷みが激しくなっている。現場の状況を確認しながら認識している。安心・安全に努めるということで、定期的に現場確認などを行っている。

問 体育館に関しては活用可能か。

答 企画財政課長

躯体等、相当傷んでおり、解体が望ましいと思う。

問 立入禁止の囲いを作ったり、子供たちが近づかないように、早急な対策が必要だと思いが。

答 村長

財産委員会に諮り、しつ

かり方向性を定めて今後早急に対応を講じたい。

問2
交通安全対策

村道平敷伊豆味線における、速度超過等の注意喚起の表示等設置について、本部署と連携し調査・研究があったが、現況を伺う。

答 村長

本部警察署と協議した結果、道路管理者である今帰仁村で対応することになり、対策方法については現在検討を重ねており、今後とも住民及び利用者の安全確保に努める。

問 現在検討を重ねておりとあるが、何を検討するのか。

答 建設課長

本部警察署と道路管理者である今帰仁村で協議を行った。その中で道路交通法に基づかない法定外の標示のほうがいいであろうということ、検討している。

問 まだ検討している最中なのか。十分時間はあったと思うが、事故があつてからでは遅い。どう考えているのか見解を伺う。

答 建設課長

滑り止め舗装を考えているが、その舗装の箇所について、どのぐらいの延長で、どのぐらいやるのかということ、今検討中。

問 「速度超過注意」の看板を設置するだけでよいのでは。注意を促すのが先だと考えるが。

答 建設課長

看板設置等も当初は考えた。看板を設置したことにより風で倒れ、それにより交通事故を起こしたという不安があり、看板による設置は見送り、今回検討する滑り止め舗装を考えている状況。

問 地域住民、区長を中心に連携を図りながら注意喚起を促すように努めていただ

きたい。

答 建設課長

早急に何ができるかを検討して、設置も、交通また歩行者の障害にならないような対策を検討していく。

問3
村管理の水道

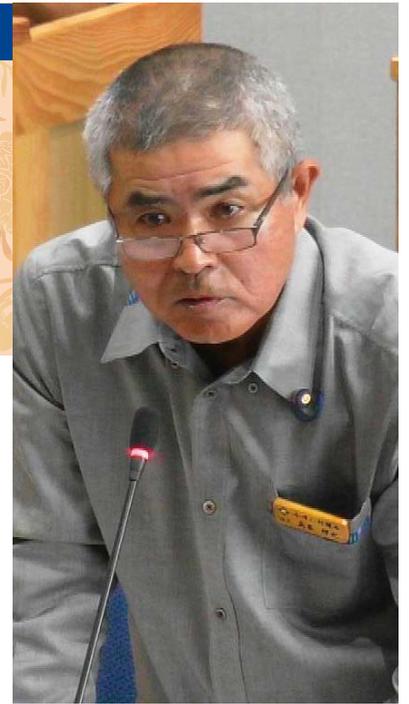
村の水道を使用したいと声があるが、工事が高額なので躊躇している。そこで村からの支援補助金等についてどう考えるか伺う。

答 村長

「今帰仁村水道事業給水条例第5条給水装置の新設、改造、修繕又は撤去に要する費用は、当該給水装置の新設、改造、修繕又は撤去をする者の負担とする。」と規定されており、給水装置設置に関する村の支援補助金はない。



山城 太 議員



島袋 輝也 議員

問1 持続可能な農業、畜産業の振興

燃料価格の上昇、生産資材の肥料、飼料の高騰で苦しむ農家への支援策を伺う。

答 村長

国から交付される重点支援地方交付金等の今後の動向を注視し、支援策について関係機関と協議を行う。

問 村独自の支援策は検討されたことはないのか

答 経済課長補佐

令和4年度に価格高騰に對する飼料支援等の支援は行っている。令和5年度は、令和6年1月にタイムスビルとパレット久茂地で開催される北部物産展に和牛組

合とスイカサミットの出店を予定している。今婦仁村の和牛とスイカのPR活動を行うことで支援策を行っている。

問 耕畜連携による堆肥づくりで有機肥料の推進を伺う。

答 村長

北部広域市町村圏事務組合で、北部地域再生可能エネルギー導入推進協議会が開催され、その中で家畜排せつ物の再利用についても議論がなされている。同協議会及び関連機関と情報共有を行い耕畜連携について調査研究を行う。

問 耕畜連携についてはどう進めるのか伺う。

答 経済課長補佐

耕畜連携には減農薬、無農薬、有機農業など様々な手法がある。耕畜連携について、情報交換を産地協議会等と行い、北部地域再生可能エネルギーの推進協議会とも情報交換を進め、支援策の調査研究を行う。

問 天敵防除など農薬、化学肥料使用低減への取組について伺う。

答 村長

本定例会に上程している第7回補正予算案で天敵防除負担金を増額している。また、去る11月16日に、村コミュニティセンターにおいて、村主催の天敵防除に関する勉強会を開催した。

問 天敵防除の農業生産コスト削減の効果を伺う。

答 経済課長補佐

天敵防除を導入したことによる農薬等のコスト削減の実績調査をしたことはな

い。天敵防除を導入した農家から情報を収集し、把握に努めていきたい。

問2 福祉行政

村が期待する村社会福祉協議会の役割について伺う。

答 村長

「福祉のむらづくり」の実現を目指した様々な活動を行っており、地域福祉の中核的役割を担っているものと認識している。

答 福祉・いづも課長

社会福祉協議会との情報交換、情報共有、社会福祉行政の役割、及び事業展開、補助金の決定等についてヒアリング等を行っている。今後も密に話し合いができる場をつくり、よりよい社会福祉、幸せな村づくりの構築に取り組んでいきたい。

問 補聴器購入の助成を伺う。

答 村長

問 村社会福祉協議会の村補助金、及び決定の基準等を伺う。

答 村長

村補助金の決定の基準等については、村補助金交付規程に基づき決定している。

問 福祉協議会の補助金については、公共性、公益性、地域にとって必要性に依りて決定されるべきと考えるが。

金生活者や所得が低い高齢者にとっては補聴器の購入は大変負担が大きいと認識をしている。本村においての助成事業については、国や県、他の自治体の状況もしっかりと勘案し、令和6年度から実施していく方向性を担当に指示をしている。

1 **問** テーマパーク「JUNGLE」の初の公式発表

給・排水計画、ごみ処理計画、景観条例への配慮について伺う。

答 **建設課長**

給水計画については、ジャングリアの計画時に給水したいとの申出もあり、調整を何度か重ねて、現況の嵐山ゴルフ場が使っていた独自のタンクを使用し、村の給水管から独自のタンクに入れ、そのタンクから現場へ給水する。最大で100トンということで給水としてはそのまま何も変えず、今の状況で提供が可能だと考えている。

問 水量もゴルフ場よりは多く使う可能性がある。飲み水も、まだホテル等の計画がないので、すぐに影響はないと思うが、将来計画の中に水道料金の問題が出てくると思う。可能性として、値上げについて考えているか伺う。

答 **建設課長**

企業局の水道料の基本料金の値上げについて、実際水道料金は上がるのかという話だと思うが、それは企業と、1日100トンということがある、その上限については調整することになっていく。水需要も考慮しながら、企業と相談をし、今後必要なのかどうか検討していきたい。



東恩納 寛政 議員

答 **企画財政課長**

ごみ処置計画は、一般的な家庭ごみではない状況であり、事業系のごみとして、業者を選定し、選定される業者が村内なのか、他の地域なのかによって持ち込む箇所も違うだろうと意見を交わしている。

答 **村長**

景観条例への配慮については、特に環境アクセスの問題はないが、今後関係各所との調整を行うと聞いている。

問 今帰仁村民の雇用効果について伺う。

答 **企画財政課長**

事業者のホームページにおいて、現在45件のマネージャー的な部署の募集が行われている。また別のホームページにおいて、開業に向けた地域雇用に関するページもあり、枠として契約社員やアルバイトがある。アルバイトの業種については、物販、飲食、キッチン、

運営、アトラクション等がある。

問 今帰仁村の建設業への受注効果について伺う。

答 **企画財政課長**

建設業協会会長と担当者、鹿島建設等を含めて、意見交換をし、その後数社入っていると担当者から報告があった。

問 開業後の「JUNGLE A」のイメージについて伺う。

答 **企画財政課長**

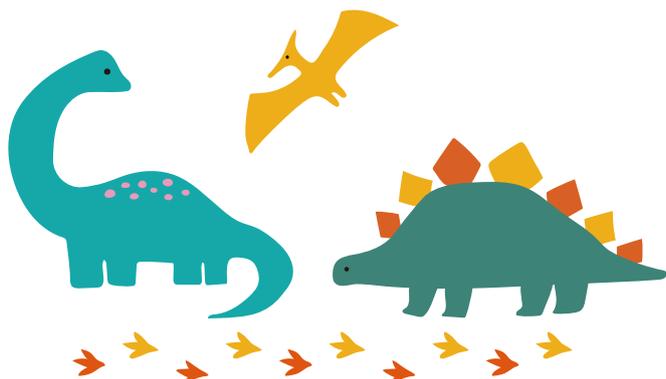
先日公開されたYouTubeに流れたイメージ映像を確認したところ。

問 旧あひあひファームの跡利用について伺う。

答 **村長**

一字、一校区という特殊な学校であり湧川区のコンセンサスなくしては成り立たないだろうと思う。先方にもそれは伝えている。そ

の辺はお互いの協議をして、いく中で学校の跡利用に関し、構築していきたいと思っっている。そしてまた、テーマパークのモデルが地域の経済を変えていくという社の方針に、私も期待しているところ。また行政としても企業と一緒に、一体となって地域振興、これはモデルとして我々もぜひ共に歩んでいきたいという思いを、発表を終えての気持ちで新たにしている。





上原 祐希 議員

問1 自主財源確保

ふるさと納税にかかる経費50%ルールの厳格化など、ふるさと納税制度の環境変化が激しい中、今帰仁村における現在の受け入れ状況と今後の課題について伺う。

答 村長

本村のふるさと納税の受け入れ状況は、令和5年11月末現在1万6,039件、約2億8,600万円の寄附が寄せられている。

問 50%ルールという経費の厳格化で、村の今の現状の認識としてどのようなものがあるか伺う。

答 企画財政課長

商工会、観光協会、またシステムの担当を行っているヴッグゲートを含め、情報を共有し、それについて複数回、意見交換を行っている。

問 現状の経費のパーセンテージは。

答 企画財政課長

令和4年度になるが、決算値において、ぎりぎりの49パーセントの範囲内での決算となっている。

問 50%ルールをクリアするために、やはり重要なのは送料がかからない商品、宿泊、観光という返礼品をいかに伸ばすかというところ

だと思いが、その辺の認識と対応をどのように考えているか伺う。

答 企画財政課長

新たな商品開発については、商工会。また宿泊に関しては、観光協会と連携を行っている。

問 企業版ふるさと納税の今後の展望について伺う。

答 村長

令和5年11月17日、第69回地域再生計画の認定における新規認定が完了している。本定例会において基金条例案を上程している。今後、村ホームページ等を活用し、村の事業計画について周知を行い、機運の醸成に努める。

答 村長

その企業の経営方針の条件に合致しなければ、寄附には至らないので、企業側と十分に調整、協議し、こちらから赴いてしっかりとやっていきたいという認識を持っていく。庁内においても、企業版ふるさと納税担当と全庁を挙げて、密に連携をし、進めていく必要があるものと改めて認識をしている。

問2 文化的景観地域

今泊区における文化的景観地域の指定について、新築住宅の建設やリフォーム等がある場合の庁舎内の連携についての現状を伺う。

答 村長

文化的景観地域についてお答えします。10mを超える建築物を新築、増築する場合は、建築工事届の提出が必要となっており、その際、関係法令等も確認し、必要に応じ、関係課と調整を行っている。

問 関係法令等も確認し、必要に応じ関係課と調整を行っているところがあるが、この辺は建設課と社会教育課でしっかりと連携を取って進めているという認識でいいのか。

答 建設課長

新築住宅の建設やリフォーム等の来庁者に対して、確認事項に漏れがないように、建設課独自の様式であるがチェック形式で14項目作成している。その中の1つとして、埋蔵文化財の確認があり、申請した方が確認を行えるようになってくる。



議決結果・賛否一覧表

「○」：賛成 「×」：反対 「欠」：欠席 「退」：退席 「公」：公務の欠席 「病」：法定伝染病の欠席。
議長は採決に加わらないため斜線としていますが、可否同数の場合に採決権があります。

議案番号	議案	議決結果	議席	1	2	3	議長	5	6	7	8	9	10	11
			氏名	座間味 靖	根路銘弘美	島袋輝也	上原祐希	座間味邦昭	上間 聰	島袋 誠	與那勝治	座間味 薫	山城 太	東恩納寛政
令和5年 第4回臨時会 令和5年11月27日(月)														
議案第49号	今帰仁村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第50号	今帰仁村会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第51号	工事請負契約について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第52号	工事請負契約について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第53号	令和5年度今帰仁村一般会計第6回補正予算について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第54号	令和5年度今帰仁村水道事業会計第3号補正予算について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第6号	専決処分の報告について	報告	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年 第4回定例会 令和5年12月20日(水)														
報告第7号	専決処分の報告について	報告	○	○	○	/	欠	○	○	○	○	○	○	○
令和5年 第4回定例会 令和5年12月22日(金)														
議案第55号	今帰仁村課設置条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	/	欠	○	○	欠	○	○	○	○
議案第56号	今帰仁村企業版ふるさと納税基金条例の制定について	可決	○	○	○	/	欠	○	○	欠	○	○	○	○
議案第57号	今帰仁村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	/	欠	○	○	欠	○	○	○	○
議案第58号	今帰仁村廃棄物の減量化の推進及び適正処理に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	/	欠	○	○	欠	○	○	○	○
議案第59号	今帰仁村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	/	欠	○	○	欠	○	○	○	○
議案第60号	指定管理者の指定について	可決	○	○	○	/	欠	○	○	欠	○	○	○	○
議案第61号	令和5年度今帰仁村一般会計第7回補正予算について	可決	○	○	○	/	欠	○	○	欠	○	○	○	○
議案第62号	令和5年度今帰仁村国民健康保険特別会計第3回補正予算について	可決	○	○	○	/	欠	○	○	欠	○	○	○	○
議案第63号	工事請負契約について	可決	○	○	○	/	欠	○	○	欠	○	○	○	○
陳情第11号	森林環境譲与税の譲与基準の見直しについて	採択	○	○	○	/	欠	○	○	欠	○	○	○	○
決議第2号	米軍CV22オスプレイの墜落事故と米軍のオスプレイ飛行に関する抗議決議	可決	○	○	○	/	欠	○	○	欠	○	○	○	○
意見第1号	森林環境譲与税の譲与基準の見直しについて	採択	○	○	○	/	欠	○	○	欠	○	○	○	○
意見第2号	米軍CV22オスプレイの墜落事故と米軍のオスプレイ飛行に関する意見書	可決	○	○	○	/	欠	○	○	欠	○	○	○	○
意見第3号	ふるさと納税制度における経費50%規制に対し見直しを求める意見書	可決	○	○	○	/	欠	○	○	欠	○	○	○	○
意見第4号	沖縄県企業局の水道料金改定に関する意見書	可決	○	○	○	/	欠	○	○	欠	○	○	○	○

令和5年今帰仁村議会総務文教委員会所管事務調査報告書

【調査期間】 令和5年11月7日(火)～11月10日(金)

【調査場所】 長野県松川町(11/8)・駒ヶ根市(11/8)・築北村(11/9)

【参加議員】 座間味邦昭 島袋輝也 座間味靖 山城太

松川町



駒ヶ根市



築北村



◆健康増進計画策定、地域健康学習における保健師・行政及び公民館の関わりについて

【視察目的】

住民の健康づくりで、先進的な取組をしている長野県松川町を視察研修し、今帰仁村の健康づくり施策を考える糧にしたい。

【研修事項】

- (1) 健康増進計画策定について
 - ・第4期 健康増進計画「健康まつかわ21」策定までの流れ
 - ・計画策定後の取組、課題解決に向けた取組等に関すること
- (2) 地域健康学習における保健師・行政及び公民館の関わりについて

【松川町研修から】

- (1) 健康増進計画は、市町村は努力義務である。本来の保健師業務である保健指導をできない状況があるため、法定義務であるデータヘルス計画で保健事業実施の体制・システムを整えた後で、健康増進計画に保健師の仕事を網羅して策定する。
- (2) 生活習慣病の重症化対策として、松川町の解決すべき健康課題を明確化共有され、戦略的に保健師等の専門職が保健指導に専念できるように、庁内の組織体制がしっかりと構築されている。データヘルス計画の中で、医療費適正化を前提に考えた場合、生活習慣病の重症化予防対象者に対する保健指導が効果的である。対面で保健指導ができる時間の確保のために事務分担を明確化し、保健師や栄養士等の専門職が訪問に行く時間を確保されている。
- (3) 保健師や社会教育主事、自治公民館企画による健康学習会等を平成12年から23年間実施し、住民に広く周知していた歴史があるので、住民自身が健診結果を保健師と栄養士と一緒に考えていく傾向があり、保健指導で住



(13頁へ続く)

民がどのように行動するかという点を大切にしている。住民主体の健康地域づくりを進めている。

- (4) 若い方への働きかけとして、消防団健診、小中学校における児童生徒を対象にした血液検査の実施。その結果を基に養護教諭と連携した学校での健康教育、三者面談での親子保健指導等を実施している。
松川町の健康な地域づくり施策には専門職が動ける体制整備など、今帰仁村が学ぶべき点が多いと感じた。

◆結婚・子育てに関する駒ヶ根市独自事業について



【視察目的】

少子高齢化の課題は、各自治体にとって悩ましい課題である。

今帰仁村は、15歳から64歳までの定住人口が特に減少し、初の8千人台となり、少子高齢化の勢いが加速的に増している結果が出ている。

定住人口の減少は、今帰仁村の一番大きな税収である地方交付税の算定に大きな影響を及ぼし、持続的な住民サービスや地域経済にも大きな影響を及ぼす。

そこで今帰仁村議会総務文教委員会では、人口減少子化等の施策に積極的に取り組んでいる駒ヶ根市を視察研修した。

【駒ヶ根市の取組み】

- (1) 結婚や出産について、個人の考え方や価値観を尊重しつつ、この危機的な状況を打開するため、『子育て全力応援!』を宣言し、令和3年から令和5年度までの3年間を集中的に少子化対策の充実化に取り組んでいる。

【駒ヶ根市研修から】

- (2) 子ども行政一元化された組織が基礎となり、スピード感をもって取り組んでいた。
国も子ども家庭庁を立上げ、子ども施策を一元化していく流れになっている。今後、組織の再編等も含めて検討していく必要がある。

◆長野県筑北村幼児教育・保育の推進について



【視察の目的】

幼児教育の先進地域である長野県筑北村を視察研修し、今帰仁村の子ども達の健やかな成長に役立てるため。

【内容】

筑北ひまわり保育園の会議室で教育委員会教育次長宮坂英幸氏の挨拶を頂き、担当職員の説明・質疑応答、約2時間の所管事務調査を実施した。

【筑北村研修から】

- (1) 本村でも筑北村幼児教育・保育推進プランのような10年先を見通した幼児保育プランが必要である。
- (2) 本プランは学識経験者、児童福祉関係者、教育関係者、臨床発達心理士、保護者の12名で2年間審議を重ね策定している。
- (3) 本村でも学びと育ちの連続性を踏まえた福祉・認定こども園・小学校の滑らかな接続を推進する必要がある。
- (4) 本村でも子ども支援専門員、幼児教育コーディネータ、特別支援教育指導員等を採用する必要がある。
- (5) 2000年にノーベル経済学賞を受賞したジェームズ・J・ヘックマン氏の「ペリー就学前教育プロジェクト」の研究成果を幼児期の学びの重要性として幼児保育プランに位置づけている。
- (6) 実践的指導の向上を図る園内研修、専門性の向上を図る園外研修の充実。自己評価・利用者評価、第三者評価を生かした園経営を推進している。

令和5年今帰仁村議会経済建設委員会所管事務調査報告書

【趣 旨】 今帰仁村の各分野における課題の解決や政策の具体化を目指し、調査の目的・要約・分析結果・問題点の指摘等、行政機関に対して効果的な政策提言を行うための基礎資料となす。

【期 間】 令和5年11月13日～11月15日

【場所・期日】 茨城県境町（11/13） 群馬県川場村（11/14） 神奈川県横須賀市（11/15）

【参加議員】 座間味薫 與那勝治 上原祐希 島袋誠 東恩納寛政 上間聰

【参加職員】 天久理絵（総務課行政係） 仲原雅宏（企画財政課企画係）

茨城県境町



群馬県利根郡川場村



神奈川県横須賀市



茨城県境町のふるさと納税について調査報告

令和5年11月13日、茨城県境町においてふるさと納税を中心に据えた補助金の効果的な活用とその成果に焦点を当てた事務調査を実施し、本報告書はその調査結果をコンパクトにまとめた。

境町では平成25年度までの厳しい財政状況から脱却するため、ふるさと納税制度を導入し、8年連続で基金増や地方債減といった財政改善が見られ、将来負担比率65.0%という好循環が確立された。

「さかいまちづくり公社」がふるさと納税業務を担当し、平成26年度から令和4年度にかけて寄附額が3,257万円から59億5,911万円に急増。公社は地域商品の開発に注力し、制度終了後も継続可能な仕組みを整備している。境町の人気返礼品は、お米や常陸牛、地元の水産品など地域特産品が中心。補助金の活用では地方創生交付金を導入し、ふるさと納税による寄附額を自治体負担分に充て地域資源を活用した産業の振興に成功している。注目すべき活用例として、干し芋の加工施設を新設する取り組みや子育て支援、スポーツ施設の整備、自動運転バスの導入など、さまざまなプロジェクトが展開されていた。

境町の成功例を参考にし、ふるさと納税による寄附金を自治体負担分に充てること等、補助金の効果的な活用を模倣することが村全体の発展に貢献すると考えられる。そのため、ふるさと納税制度には特に力を注ぎ、ECサイトと同様のクリック率向上対策や、寄附金の使途による効果の適切な評価を行い、持続可能な地域振興を目指すことが求められる。

家族で一日楽しめる川場村 道の駅 調査報告

***** 群馬県川場村 道の駅川場田園プラザの取組について *****



●川場村の概要

【人口】3,480人(2020年10月時点) 【面積】85.25km²

自然環境豊かで、田園景観を活かした「田園理想郷」を目指して地域づくりを進め、産業振興では、「武尊山」などから流れ出す清流を生かした農産物のブランド化に取り組んでいる。

観光では道の駅「川場田園プラザ」が全国モデル道の駅に選ばれ、道の駅ランキングでは全国1位となるなど、連休などには1,000台以上の車で駐車場があふれ返り、訪れる人の70%がリピーターで、従業員の数も140名と雇用にも大きく貢献するなど、「農業+観光」の村としても高い評価を得ている。

地域の拠点として、観光客や地元の人々に憩いの場を提供し、地域の特産品や食文化の紹介、イベントの開催など地域活性化に貢献している。農業では、特に米作りが重要。また、林業も地域経済に貢献している。

行政施設としては、役場や保健センター、図書館などがあり、地域住民の福祉や情報提供の中心となっている。

●今帰仁村に反映できると思われる事項・意見

今帰仁村は今帰仁城跡と古宇利島がそれぞれ年間かなりの観光客の来訪者があるが、今後中心市街地の幹線道路沿いにファーマーズマーケットなどを兼ねた道の駅が開業し、地元農水産物や特産品の販売にも大いに期待がもて、かなり多くの観光客の集約が見込めるのではないかと思われ、それにより村内雇用や活性化に大きく貢献すると見込まれる。



ChatGPT

横須賀市の Chat GPT 活用調査報告

Chat GPTの生成 AI開国の地横須賀から描く AIの未来

横須賀市では、令和5年4月20日から、Chat GPTの全庁的な活用実証を行い、この度その結果報告がまとまる。この結果を踏まえて、新たにAI戦略アドバイザーを迎え、更なる職員のスキルアップや、生成AIの新たな活用に向け、取り組んでいる。

市役所内でのプロンプトコンテストの実施や、この1か月間の実証で横須賀市が蓄積したノウハウを、他の自治体にも積極的に提供するなど、取組を更に推進する事で、自治体における生成AIの適切な活用促進、市民サービスの向上を目指している。

職員へのアンケート調査結果、最終アンケート回答者のうち約8割の職員が「仕事の効率が上がる」「利用を継続したい」と回答した。

●今帰仁村への Chat GPT を活用した事例の一部

・Chat GPT を活用して、商工業などの経済活動に関連する情報も含めて効果的な文書管理が行われ、各業務において業務効率化と簡素化を進める取り組みが行われる。

・Chat GPT を介して、経済課や商工会の活性化に向けた事業誘致を促進するため、村のスムーズな業務遂行を目指し、村役場内に専門の企業立地課を設置し、商工会や農業関連団体と連携して効率的かつ迅速な企業誘致を行う。

・Chat GPT を活用して、地域のイベント情報や交流活動の案内を行い、地域コミュニケーションの促進や地域づくりに貢献する。

●今回の所管事務調査には今帰仁村の役場職員も2名参加した。研修の成果を多くの職員に伝え、今帰仁村の生成AIの導入に繋げることを期待する。

今帰仁中学校3年生 議会傍聴

令和5年12月19日・20日

今帰仁中学校3年生が議会の傍聴を行いました。



現場踏査



令和5年12月18日ジャングリア(テーマパーク)建設現場にて、(株)ジャパンエンターテイメントより事業説明を受けました。



編集後記

桜は、今年も山々をピンク色に染め、地域の人々や観光客を楽しませている。そんな桜の花を見るたびに、命の尊さを思い、そして、元気をもらった。村内には、代々地域の人々により守られてきた樹木が数多く存在する。年輪を刻み風格あるその姿は、見るたびに畏敬の念を感じずにはいられない。

地域の人々により守られてきた樹木は、唯一無二の存在であり、これからも守り育てていく必要があると考える。

3月16日〜24日の9日間オープンガーデンが村内で開催される。丹精込めて育てた花と緑で、訪れた方々がリフレッシュされること間違いなし。村内の方々も是非参加して頂きたい。

議員となつて1年半、村民の声を村政に届けられることに、やりがいを感じられるようになってきた。今帰仁村民が幸せを実感できるように精一杯活動していきたい。

(根路銘弘美)

- 広報委員長 座間味 靖
- 副委員長 根路銘弘美
- 委員 島袋 輝也
- 委員 上間 聰